

学校だより



わかば かおる

若葉かおる学園

心ゆたかな子ども (よく考える子ども 力を合わせる子ども 健康で明るい子ども)

令和3年 11月 1日発行
練馬区立大泉学園小学校
練馬区大泉学園町4-7-1
TEL 03-3923-0006
FAX 03-5387-2193

子供に尋ねる 子供に寄り添う ～1分以上の沈黙から学ぶこと～

校長 加賀田 真理

先日の授業参観には、大勢の保護者の方にお越しいただき、心より感謝申し上げます。久しぶりの教室での授業参観であったため、子供たちも必要以上に緊張してしまわないかなど、少し心配していましたが、保護者の皆様のご協力により、教室が密にならない等、普段とあまり変わらない環境を保てたため、ほぼ普段と変わらない学校生活をご覧いただけたのではないかと思います。参観に際してご不便をおかけしているところもありますが、感染防止対策を行いつつ、継続して実施できるよう実施方法を改善しながら取り組んで参ります。今後とも、ご協力をお願いいたします。

また、11月は6年下田移動教室、展覧会などの大きな行事を実施するほか、「ふれあい月間」や読書旬間なども行って参ります。子供たちの活動に励ましの声をかけていただければ幸いです。

10月26日に校内研究会で、3年の荒井宇美主任教諭が実施した「ちいちゃんのかげおくり」の授業についての研究協議会を行いました。昨年度より、感染防止対策のため校内研究会は、ごく少数しか直接教室には入らずにビデオを撮影し、授業の様子を撮影したビデオや子供たちが書いた資料等をもとにして、当日ご指導いただく講師の先生と教員のみで体育館で協議会を行っています。(子供との接触の機会が多くなりすぎないように配慮しています。)今回は「ちいちゃんのかげおくり」の第四場面(空襲によりひとりぼっちとなったちいちゃんが、かつて家族で一緒に行ったかげおくりをすることで、空の上で家族に会えるのですが、同時にちいちゃんの命は空に消えていくという場面。ビデオは10月20日・22日の授業で撮影。)での子供たちの学習活動の様子を中心に研究協議会を行いました。この授業のメインは、子供たちがこの場面の印象を「短い言葉」で表現して、全員が黒板に貼り出して比べてみるという活動でした。その際の活動の工夫として、最初に貼る子供は黒板の中心に貼るのですが、次に貼る子供は、前に貼った友達の言葉を読んで、自分と近い内容だったらその短冊のすぐそばに、自分の言葉とは異なる内容だったら、離して貼るようにさせました。一人一人が友達の表現した言葉と比べながら貼っていくことで、最終的には同じような言葉のかたまりができあがり、学級のみんながその場面から感じていることの感想の地図が完成します。実施してみると子供たちの感想の地図が見事に「うれしい場面」と「かなしい場面」に分かれ、その間に「かなしいけれどもうれしい」等、相反する気持ちが半分半分の感想のかたまりができあがりました。また感想と深く関わるキーワードとして、そのかたまりの周辺に、題名にもある「かげおくり」(3名)や、この場面が現実の出来事かどうか曖昧であることを示す「ゆめをみていたよう」などの言葉が貼られていきました。次々に子供たちが言葉を貼っていく活動を私も参観しておりましたが、読み取ったことを自分たちの力できちんと整理できる様子を、改めて子供たちの力のすごさに驚き、感動しました。その中で、Aさんが黒板の前で自分の短冊と黒板に貼られている短冊を見比べながら、じっと考えている様子に出会いました。途中から私もビデオを撮り始めたのですが、ビデオに収められた時間だけでも1分以上じっと考えてから、自分の短冊を全体に位置付けて貼る姿がありました。この沈黙の間Aさんは集中して、ずっと自分の考えと友達の考えを、繰り返し何度も何度も比べていたのだと思います。本当に真剣に没頭して考えている学びの姿が、そこにはありました。小学生の発達段階として、明るく元気に活動する姿もとても大切にしていきたいですが、同時に3年生であっても、真剣に深く考える姿を引き出すことができること、自分たちの力で感想等の整理を進めることができることを念頭に置き、「子供に尋ねる」、「子供に寄り添う」ことを通して、これからも子供たちがもっている力を最大限に引き出していきたいと思えます。この授業の最後に書いてくれた学習の感想がとてもすばらしく、全てを紹介しきれないことが大変残念ですが、一人だけご紹介させていただきます。

「クラス全体で感想をくらべるのってこんなに楽しいんだと思った。」

研究を通して、日々の授業を充実させることにより、このような感想がさらにたくさん引き出せることを目指します。教育活動へのご協力を、これからもよろしくをお願いいたします。



11月の予定		
1	月	安全指導 委員会
2	火	
3	水	文化の日
4	木	就学時健診
5	金	クリーン運動 放課後補習教室
6	土	
7	日	
8	月	クラブ 読書旬間始
9	火	遠足(3、4年)
10	水	朝読書 避難訓練 ユニセフ募金集会(昼の放送)
11	木	朝読書
12	金	クリーン運動(予備)
13	土	
14	日	
15	月	校内研究授業のため5時間授業 ユニセフ募金運動①
16	火	ユニセフ募金運動②
17	水	ユニセフ募金運動③ 下田移動教室始(6年)
18	木	下田移動教室終(6年)
19	金	読書旬間終 朝読書 放課後補習教室
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	勤労感謝の日
24	水	教育会全体研究会のため4時間授業
25	木	ゲーム集会
26	金	展覧会(児童鑑賞日)
27	土	展覧会(保護者鑑賞日) 給食あり・5時間授業
28	日	
29	月	振替休業日
30	火	



なかよし班活動について

特別活動部 内川 航

なかよし班活動は、6年生を中心に全学年が入った縦割り班での活動です。6年生が班長になり、各班の遊びを考えて、進めます。昨年度は行っていませんでしたが、今年より行うこととなりました。全4回の活動にはなりますが、校庭では、おにごっこ、ドロケイやドッジボール、教室では、何でもバスケット、ばくだんゲームやハンカチ落としなど、遊ぶことを通して違う学年と仲良くなっていきます。

高学年の責任感や下学年に対する思いやりは、このような活動からも培われています。そして、下学年にその姿勢が受け継がれていくのです。

遠足(1、2年)

担任 浅沼 由香里

10月12日(火)、大泉さくら運動公園に遠足に行きました。2年生が班長の縦割り班をつくり、2回の班会議と、1回の班遊びを経て、いよいよ本番。道路では、白い線から出ていないかな?間は空いていないかな?と1年生の心配をしながら歩く2年生。公園ではすっかり緊張も解け、オリエンテーリング、班遊びと、とても仲良く楽しそうに過ごしていました。少し、ポツポツ雨が降り始めたので、お弁当は中央公園の大きな木の下で食べました。おいしいお弁当と大好きなおやつを食べ、合羽を着た帰り道も大満足で帰ってくることができました。1年生とのかかわりを通して、大きく成長することのできた遠足でした。

展覧会について

文化行事委員長 竹重 由美子

今年度の展覧会のテーマは、「2021 今をつくる!心のとびら、ひらいて」です。子供たちは4月から少しずつ作品を制作してきました。学校行事の中でも準備期間がとても長い展覧会ですが、長いマラソンもいよいよゴールに近づき、ラストスパートの時期となりました。ただ今作品の仕上げを頑張っています。また、図工の作品だけでなく、高学年の家庭科の作品も展示されます。展覧会当日、子供たちの思いとパワーをじっくり感じつつ体育館を巡っていただけるとありがたいです。保護者鑑賞日は、11月27日(土)です。楽しみにしてください。

読書旬間

学力向上委員会 瀬川 卓見

秋の夜長に親子で本を読んでもみるのはいかがでしょうか。

学校では、8日から19日まで読書旬間があります。図書委員会の取り組みとして、低学年は10冊、高学年は5冊本を読んで記録カードに記入した子に、記念品をプレゼントする企画をします。折り紙のかわいい飾りです。ぜひ、本をたくさん読んで、手に入れてほしいと思います。また図書室には図書委員の児童のおすすめの本紹介や、図書室に来たみんなにおすすめの本を置いてもらうコーナーを設置します。

ぜひたくさん図書室を利用して、お気に入りの1冊を見つけてほしいと思います。

11月

生活目標: 遊びの約束を守ろう

(校庭での遊びのきまりを守ろう)

保健目標: 姿勢を正しくしよう